

報告事項ア

平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項について

平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項について、別紙のとおり報告します。

平成30年5月16日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の主な内容

平成30年5月16日  
教育人材開発課

項 目	平成31年度選考試験	平成30年度選考試験
実施要項等の交付及び出願期間	平成30年5月2日(水)から 平成30年5月23日(水)まで 持参・郵送 ※平成30年5月18日(金)まで 電子申請	平成29年5月11日(木)から 平成29年6月1日(木)まで
試 験 期 日	[一次試験] 平成30年7月7日(土)・8日(日) [二次試験] 小・中・特別支援学校教諭・養護教諭 平成30年9月3日(月)～6日(木) 高等学校教諭 平成30年9月7日(金)・8日(土)	[一次試験] 平成29年7月15日(土)・16日(日) [二次試験] 小・中・特別支援学校教諭・養護教諭 平成29年9月11日(月)～14日(木) 高等学校教諭 平成29年9月15日(金)・16日(土)
試 験 会 場	鳥取市立湖東中学校 鳥取県立鳥取商業高校 鳥取県教育センター 鳥取県立鳥取西高校 ※必要教室数確保のため	鳥取県立鳥取湖陵高校 鳥取県立鳥取商業高校 鳥取県教育センター
受 験 資 格 (年齢要件)	52歳未満 (平成31年4月1日現在)	50歳未満 (平成30年4月1日現在)
採用予定数	小学校教諭 95人程度 中学校教諭 50人程度 高等学校教諭 19人程度 特別支援学校教諭 30人程度 養護教諭 13人程度 計 207人程度	小学校教諭 85人程度 中学校教諭 44人程度 高等学校教諭 10人程度 特別支援学校教諭 20人程度 養護教諭 13人程度 計 172人程度
試 験 内 容	[一次試験] (一日目) 筆記試験(一般教養、専門試験)、技能・実技試験、 <u>適性検査</u> (二日目) 場面指導、併願者の技能・実技試験 [二次試験](予定) 個人面接、集団面接	[一次試験] (一日目) 筆記試験(一般教職・教職教養、専門試験)、技能・実技試験、 <u>集団討議</u> (二日目) 集団面接、併願者の技能・実技試験 [二次試験] 個人面接、集団面接、 <u>模擬指導等</u> 、 <u>適性検査</u>
主 な 変 更 点	[筆記試験・面接試験等] ○教職教養を専門試験へ含める出題形式 ・試験内容をスリム化し、受験者の負担を軽減し、受験者を確保するため ○一次試験で従前の集団討議及び集団面接を廃止し、場面指導を実施 ・大量退職に伴い、即戦力となる者を確保するため ○一次試験で適性検査を実施 ・二次試験で行う面接試験の参考資料とするため ○小学校教諭の専門試験をマークシート方式へ変更(従来は、記述式) ・受験者の負担を軽減し、受験者を確保するため ○島根県等との試験日程の調整 ・併願受験者の増加を図り、受験者確保につなげるため [特別選考(現職教諭)の試験内容等] ○他県での従事期間を3年以上から2年以上に短縮 ○一次試験は、適性検査に加え小・中・特・養は場面指導、高は専門試験を実施 ・校種別に教員としての適性を担保しつつ、受験者確保のため [申請] ○電子申請を導入 ・出願の簡便化を図り、受験者の負担を軽減し、受験者を確保するため	[加点] ○英語に関する上位資格保有者に対する加点の設定の追加 ・小学校外国語活動や今後の英語の教科化に対応するため ・中学校・高等学校教諭の実用英語技能検定準1級以上の受験者を確保するため [特別選考(現職教諭)の試験内容等] ○一次試験 ・小・中・特・養は面接試験のみ実施 ・高は専門試験を実施 ・適正検査は二次試験で実施

## <参考>

### (1) その他の特別選考及び特例等

#### ア スポーツ・芸術の分野で秀でた者を対象とした選考

- ・平成20年4月1日以降（高等学校卒業後に限る）
- ・スポーツの分野において、国際的な大会（オリンピック、パラリンピック、ユニバーシアード大会、世界選手権大会、アジア大会、及びこれらと同等の国際的な規模の大会）に日本代表として出場した者若しくは全国的な大会（国民体育大会、全日選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれらと同等の全国的な規模の大会）でベスト4以上に入賞した者
- ・芸術の分野において、国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者

#### イ 身体に障がいのある者を対象とした選考

- ・身体障害者手帳の被交付者（1級～6級）
- ・障がいの程度に応じて一次試験の技能・実技試験の一部若しくは全部免除又は振替を行う
- ・各試験区分の採用予定数に含む  
※採用予定数の内、小・中学校教諭3人程度、特別支援学校教諭2人程度

#### ウ 現職教諭を対象とした選考

- ・本県以外で2年以上教諭として勤務し、現在も志願する試験区分に勤務している者
- ・すべての試験区分
- ・小学校・中学校・特別支援学校教諭、養護教諭は、一次試験における一般教養試験、専門試験を免除（場面指導及び適性検査を実施）
- ・高等学校教諭は、一次試験における一般教養試験、場面指導を免除（専門試験及び適性検査を実施）
- ・各試験区分の採用予定数に含む

#### エ 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考

- ・教諭普通免許状を所有していないが、民間企業、官公庁（教育関係機関を除く）等に正職員として5年以上の実務経験を有する者
- ・高等学校教諭の農業、工業（機械）、工業（電気・電子）、工業（建築）、水産（食品）が対象試験区分
- ・対象試験区分の採用予定数に含む

#### オ 大学院進学希望者及び大学院修学継続希望者への特例

- ・平成31年度に国内の大学院に進学する者  
→平成33年度採用候補者名簿に登載し、公立学校の教員として正式に採用
- ・平成30年度に国内の大学院（教職大学院を含む）で在学中の者  
→修了予定年度により、平成32年度採用候補者名簿又は平成33年度採用候補者名簿に登載し、公立学校の教員として正式に採用
- ・各試験区分の採用予定数に含む

#### カ 英語に関する有資格者への加点

##### 【小学校教諭、特別支援学校教諭】

- ①次の場合に第一次選考試験の筆記試験の合計点に、20点加点  
→実用英語技能検定準1級以上  
→TOEFL iBT 80点以上 PBT550点以上  
→TOEIC 730点以上
- ②次の場合に第一次選考試験の筆記試験の合計点に、10点加点  
→TOEFL iBT 42点以上 PBT440点以上  
→TOEIC 550点以上

##### 【中学校・高等学校教諭（英語）】

上記①の場合に第一次選考試験の筆記試験の合計点に、20点加点

#### キ 複数免許状所有者への加点

##### 【小学校教諭、中学校教諭】

- ・小学校教諭志願者で中学校教諭普通免許状所有者又は中学校教諭志願者で小学校教諭普通免許状所有者に対して、第一次選考試験の筆記試験の合計点に10点加点  
※免許状取得見込みの者は対象としない

### (3) 実施要項のホームページ掲載予定日

平成30年5月2日（水）